

児童発達支援ガイドライン自己評価表

回答率

事業所職員： 4名回答、回答率 100%

保護者様： 22名回答、回答率 79%

職員の意見

○環境・体制整備

法令上の基準は満たしているものの、療育活動の内容やお子様の特性・課題によっては十分ではないと感じる場面もあるため、日々のミーティング時にお子様一人一人の特性や安全面を考慮し、支援方法を工夫することで最善の支援を行っている。

○業務改善

階層別研修や品質向上の為の研修を行っている。

職員間で支援の進め方等の話し合いを行い、必要に応じて心理士と連携しながら支援の質の向上に努めている。

上期、下期に個々に振り返りシートを作成し、支援向上の為の目標と振り返りを上司と共有している。

○適切な支援の提供

職員間での情報共有として、支援開始前には、支援の進め方や役割分担を確認している。また、日々のミーティング時には支援の振り返りを行い、お子様の気づいた点を共有し、次回の支援内容を計画している。支援の進め方については職員全員で検討し、お子様1人1人に合わせた支援を心掛けている。

○関係機関や保護者との連携

セルフプランで利用している方に、継続した支援ができるよう、相談支援事業と連携を取っている。

事業所内相談支援にて、ご家庭での様子をヒアリングしながら環境整備等の提案をしている。また、就学に向けての準備ができるように出来る取り組み方法をお伝えし、毎月ホームワークの提案を行っている。

○保護者への説明責任等

支援後、10分間のフィードバックの時間を設け、当日の課題の目的や達成度、お子様の様子等、対面でお伝えしている。

○非常時等の対応

毎月1回、水害・火災・地震等様々なケースを想定した避難訓練を保護者の方にも参加していただきながら実施している。

災害時には、迅速に対応できるよう努めている。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

9割の方が満足しているという回答であった。

子どもの活動スペースについては「もう少し広いと良い」「手洗い場の環境整備をしてほしい」というご意見を頂いた。個別スペース・活動スペースに合わせた活動を提供できるよう支援内容を検討する。

清潔な環境を提供できるよう、定期的にチェックを行う

○適切な支援の提供

苦手な部分について重点的に取り組んでもらっている、のご意見をいただいた。また、利用者から、取り組んでいるプログラムに対してご利用者の皆様から満足度の高い評価を頂いた。

教室内ミーティングで今後もしっかりと行い、一人ひとりに適切な支援を提供していく。

○保護者への説明等

「日常のお困りごとや家庭や園での話しを聞いてもらって助かっている」とのご意見を頂いた。今後も保護者のお声を受け止め、安心してご利用頂けるように丁寧な説明や対応を徹底していく。

○非常時等の対応

昨年度のアンケートを踏まえ、保護者の方も一緒に避難訓練に参加していただけるように実施したが、2割の方が「いいえ」「どちらともいえない」という回答であった。今後も非常時の対応をご利用者の皆様に周知できるように検討していきたい。

○満足度

「園の生活が疲れてしまっても楽しく取り組んでいる」「体調不良でお休みした時に泣くほど楽しみにしている」「先生方に出会えた事で成長し、今まで一人で抱え込んでいた事も相談できるので親子共々感謝している」というご意見を頂いた。

今後ご利用者の皆様に満足して頂けるよう努めていきたい。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

・幼稚園・保育園・療育施設との連携やその流れについて、新規ご利用者には契約時に説明、既存ご利用者には面談やフィードバックの機会を活用してお伝えしていく。必要に応じて訪問等も行い、関係機関との連携を深めていく。

・緊急時や感染症対応について、職員や保護者への周知が十分ではなかった為、ご利用者出入り口付近に、避難場所を掲示する。また、避難訓練実施日は、実施する旨を掲示板でお知らせし、保護者と共に避難訓練を実施する事も検討していく。

○改善できた点・まだ残る課題

・幼稚園・保育園・療育施設との連携が取れることをお伝えし、関係機関とも連携を強めていくことができた。

・避難場所を出入り口に掲示したり、避難訓練実施日には実施する旨を掲示していたが、まだ周知には工夫が必要である。

アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・お子様、一人一人の特性に合わせた支援の実施
- ・作業療法士を交えたアセスメントや支援の振り返りの実施。
- ・保護者からの相談に対して職員間でミーティングを行い、保護者への助言に加えて、保育園、幼稚園訪問の提案等、重点的に実施している。
- ・事業所内での相談支援を積極的に行っている。

○改善点

- ・ご利用者・保護者の方が定期的に避難訓練に参加できるよう実施してきたが、周知がまだ十分でない為、周知方法は新たに工夫を検討する必要がある。
- ・手洗い場を含め更なる環境整備が必要。

中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・教室内の設備の配置や、個別スペースや活動スペースに合わせた療育内容を提供する。
- ・お子様の様子や保護者とのフィードバック時に、直近での様子についてヒアリングをしながら教室での活動が固定化しないように支援を検討していく。

○1年間で取り組む具体策

- ・同じ境遇の保護者同士でお話できる機会を設けることを検討。
- ・清潔な教室環境を提供できるように定期的に教室内チェックをし、環境整備を行う。
- ・避難場所を出入り口に掲示したり、避難訓練実施日には実施する旨を掲示しているが、実施日が固定化しないように年間計画を立て確実に実行できるように努める。